

地方創生、地域を変える



やまもと さとし
山本 聡 議員



魅力的なまちづくり
について問う

〔質〕 1〜3次産業において、既存産業のブラッシュアップは必要か。

〔答〕 市内で養殖した生産物を冷凍技術によって諸外国へ輸出を拡大しようとする生産の動きや安定漁業を目指す漁業生産者について成功事例を参考にしながら支援を行う。人手不足に対応した事業基盤を構築することなどを目的に、中小企業等経営強化法に基づく先端設備等の導入促進計画も策定した。

〔質〕 地域通貨の導入について尋ねる。

〔答〕 健康づくりや地域交流等の施策と連携が可能。地域コミュニティの活性化に役立ち、行政コスト削減などのメリットがある。

〔質〕 創造性豊かな人材育成について尋ねる。

〔答〕 子供たちは、保護活動、再生活動、探究学習を通じて、地域の課題に気づき、できることに挑戦し、地域を大切にしてきた。このような学習を通じ、地域全体の活力につなげるとともに、地域に愛着を持った人材を育んだ。そうした創造性豊かな市民の意見やニーズを積極的に取り入れ、協働による持続可能な地域社会の実現のためにコミュニケーションを図り、行政支援を行う。

〔質〕 広い視野からの地域社会の構築について尋ねる。

〔答〕 友好親善交流事業、小・中学生海外派遣事業を推進する。

防災について問う



まなべ ようこ
真鍋陽子 議員



学校教育について問う

〔質〕 ①木造住宅の耐震化補助制度活用状況②改正空家対策特別措置法により市町村が重点的に空き家などの活用を図るエリアを促進地域として定めることができるが、市内に促進区域として設定された地域の有無③市内校舎窓ガラスの地震対策④相談支援ファイル「かけはし」の活用⑤母子避難所⑥ペットの同行避難について尋ねる。

〔答〕 ①令和5年度の活用状況は耐震診断5件、補強計画2件、耐震改修工事0件。情報提供や周知に取り組み②現在はないが選択肢の一つとして考えていく③安全性の確保は重要と考えている④災害時も含めた活用上のメリットを説明する⑤ない⑥屋外、屋内での対応を想定している。ペットも家族の一員。ためらわず同行避難を。

〔質〕 ①文化系部活動の地域移行②令和の日本型学校教育の地域への実装③幼児教育、学校教育の連携について尋ねる。

〔答〕 ①地域の受皿となる団体や公民館を中心とした各種教室との連携を検討している②新しい教育が行えるようになってきている一方で、画一的、同調主義的な教育から脱却できていない実態がある。社会の多様化が進む中で、学校においても早急な教職員の意識改革が必要だと考えている③就学前の保育教育施設から義務教育施設の連携を強化してきている。

他「令和6年組織見直し」「有機農業への取組」「学校トイレへの生理用品設置」「子ども出生記念品」等について質問しました。